

山市で安心して過ごせるということについてどのように考えていらっしゃいますか。

市長 狭山は東京から35km圏内で交通の便もよく自然も豊かです。このような環境の中で狭山に来る大勢の学生たちが市内で充実した時間を過ごせるよう懸命に取り組んでいます。現在、人と自然に優しいまちづくりをテーマに、狭山市駅西口再開発を手掛けています。広いスペースと緑のある駅前とする構想です。ので駅を出た瞬間に『素晴らしい』という印象を持ってもらえると思います。



ます。また、学生の皆さんが市内で楽しく過ごせるよう、商店街の活性化などにも取り組んでいます。活性化することで市民とさまざまな交流が持てるようになると思います。せっかく狭山市内の学校に来ていながら、授業が終わるとすぐに電車に乗って都心へ行ってしまふのはとても残念です。

清水 私には月に一回は狭山キャンパスのある稲荷山公園の駅を利用するのですが、電車を降りると空気が違うのが分かります。とても爽やかですね。

4. 今、必要とされている大学との緊密な情報交換

佐藤 ところで私たちの大学では、行政と密着して生涯教育やまちづくりに関与し、市民ともっと交流を深めたいと願っています。

市長 市では年間を通じていろいろなイベントを開催しており、ぜひ学生たちにも積極的に参加してもらいたいと思います。たとえば毎年4万人もの人が集まる人間川七夕まつりに、各大学で工夫を凝らした竹飾りを出展してもらったとか。他にも市の主要な行事もありますので、今後市と大学との情報交換をもっと密に

していければ、学生たちも狭山市を知る機会が増え、いろいろな交流の中から、狭山についていいところだから市内で就職したい。とか、市内に住みたい。という気持ちになつてくれると思つんです。

清水 ぜひお願いしたいですね。実は秋の大茶会には、うちの大学の茶道部が毎年参加しているんです。そういう催し物に、もっと学生が参加できれば、本当にうれしいです。

さらに、大学の取り組みを市民に広く周知していただけるとありがたいですし、逆に市民の皆さんからの、こうしてほしいという要望があれば承りたいと考えています。

市長 私も、市内の大学にいろいろな面で協力いただいているということを市民に知ってもらうことは非常に大切だと思っています。

高橋 私どもの大学では、七夕ツアーというのを実施しているんです。すると、みんな浴衣を着て喜んで参加します。もちろん、さやま大茶会には茶道部が、最高のお点前をこゝ合宿して臨んでおります。短大が開校してからはまだ20年余ですが、以



学校がどの子にとっても楽しい場所であるために。(写真はイメージ)

前から人間川地区に「山の学校」と親しまれている林間学校施設を持って、いまして、ここをバーベキューや自然散策ができるように整備することになりました。市民の皆さんにもぜひ活用していただきたいと思います。

長い間狭山にお世話になっていきますので、市のためにもっと頑張らなければいけないと感じています。

市長 ありがたいことですね。そのためにも、今後お互いの情報交換をもっと進めていきたいと思っています。

5. いじめ問題解決のために専門的な見地で協力を

市長 今、以前ほど騒がれなくなりましたが、依然としていじめの問題は大きな教育問題として残っています。少子化が進む中で、市ではいじめや不登校の問題に真剣に取り組んでいるのですが、この分野について大学のカウンセラーの先生がたのご協力いただければ、問題をスムーズに解決できるのではないかと考えています。

清水 その点では、文学部に心理

教育学科があり、臨床心理関係の教授が数名おりますので、スクールカウンセリングなどの面でお役に立てると思います。

市長 子どもだけでなく家庭の問題もありますし、当事者の心理状態を適切に見極め、心理学、臨床心理学の観点からそれぞれに分析できるような人がいると助かりますね。

清水 それには親と学校の先生にまず勉強してもらわないといけないと思います。こういった問題のも

ともの原因は親なのではないでしょうか。見ていると、両親が働いている子どもの方がしつかりしているという部分があります。こういった言い方には少し語弊がありますが、割合だけを見ると、専業主婦の方がどちらかというと子どもに対する虐待が多いんです。それが子どもに跳ね返って、今度は他の子どもに当たるといった悪循環のような気がします。



佐藤 皆さまがおっしゃっているように、私は一番の問題は子どもより親にあるのではないかと思っています。今まで子どもの教育だけで親の教育なんてありません。

高橋 私どもの大学には、幼児教育学科と幼稚園があります。が、今の母親はテレビを見せておけばおとなしいから」と子どもに読み聞かせをしないという話を耳にすること

があります。たとえばビデオを作った「こうやって読み聞かせをしましょう」と市で提唱していただければ、自分のことだけではなく、子どものために何をしたらよいのか考えなければいけないということも、アピールできると思うんです。そうすれば、もつと落ち着いた子育てができるでしょうし、学校での問題の処理の仕方

も分かってくると思います。もつと学校のほうから家庭に入り込んでいけば、こういった問題は防げるんじゃないかという話もあります。佐藤 皆さまがおっしゃっているように、私は一番の問題は子どもより親にあるのではないかと思っています。今まで子どもの教育だけで親の教育なんてありません。高橋 なるほど、同感です。

ことが言えますが、親父の会とか母親の会を作ってお互いに情報交換をすることによって、学校に対しても目を向けられるようになるんですね。今、実際にテレビなどで目にするよう

のレポートを提出すれば、学校の単位も取得できる、ということはいかがでしょうか。学生たちにもプラスになると思います。

清水 八王子市では、英語の授業で帰国子女の英文科の学生を助手にしています。いわゆるお兄さん先生、お姉さん先生ですね。それと同じようなことだと思つのですが、いいアイデアですね。

市長 そうですね。今の学校や教育の問題、これは親だけに、学校だけに子どもだけに責任を押しつけることはできません。この問題の解決のために、皆さんそれぞれに努力はしていますが、なかなか成果が出てきません。しかし、これらが一体となつて歯車がかみ合うことで効果が表れることがあります。でも、これが市全体に広がるということはなかなか大変なことです。

市長 学校教育の現場でも、校長先生などが中心にいろいろ頑張ってくれています。しかし、やはり年齢差があつて理解しにくい、伝えにくいということもあるようです。ですから、お兄さんやお姉さんのような先生だつたら、心の中のものが出せるかもしれない。この案はぜひ検討していただきたいと思っています。佐藤 そうですね。大学生だけでなく、市内の人材を積極的に活用して、住みよい狭山市にしたいですね。市側も狭山市に協力を惜しみません。市長 ありがとうございます。これから皆さんの協力をいただきながら、狭山市の教育行政を素晴らしいものにしていきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。本日は大変お忙しい中、ありがとうございました。

6. 学校教育の現場に幅広い人材の参加を